

豊庄だより



第 678 号 2021 年 9 月 21 日

福岡市早良区南庄 2-26-13
社会福祉法人林生会豊庄保育園
園長 西尾 達

9 月の誕生会（9 月 12 日）は、緊急事態宣言期間中のため、8 月に続いて保護者の参加なし、クラス単位のプログラム（入れ替え制）でおこないました。8 月誕生会同様、ビデオカメラを回し全プログラムを撮影しました。今回は、撮影中、ビデオカメラのハードディスク容量不足というトラブルがあり、ひやひや



やしましたが、今回は同じ轍は踏まないことを心に銘じ、臨みました。誕生者の保護者の皆さんには、ブルーレイ、DVD にダビングしたものをプレゼントしました（※ディスクには、司会のユーチューバー・ナカニシの圧倒的な「出し物」も収録されています。「貸し出し」もしていますので、希望される方は事務室までどうぞ）。

短縮プログラム、そして「観客」が少ない中での誕生会でしたが、今できるとりくみを工夫しながらやっていくことが大切だと思っています。

話は変わりますが、先週の土曜日は 9 月 18 日でした。

「今年で 90 年目」と言われてもピンとこない人が多いと思いますが、90 年前の 1931（昭和 6）年 9 月 18 日は忘れてはいけない日だと思っています。この日は、中国・奉天（現在の瀋陽）郊外で起きた満鉄爆破を口実に日本軍は中国への攻撃を始めた「満州事変」勃発の日です（「柳条湖事件」と呼ばれています）。当時奉天総領事館の首席領事だった森島守人は、その著書『陰謀・暗殺・軍刀』（岩波新書）の中で、事件当夜、関東軍から呼び出しを受け、「軍が怪しい」と思い平和的解決を訴えたところ、軍人は軍刀を抜いて彼を威嚇し、総領事館から本省（外務大臣あて）に出された事件を伝える電報の内容が気に食わないとして、「無電室を打ち壊す」と言われたと書いています。

事件後、リットン調査団が事件の調査をし、国際連盟に報告をします。日本はこの調査結果を不服とし、国際連盟を脱退、以後国際社会から孤立化の道を歩み、1945 年の敗戦まで 15 年に及ぶ戦争を続けます。

「9 月 18 日」は、日本による中国侵略の歴史の始まりとなる事件なのです。中国では、「国の恥を忘れるな」というスローガンを掲げ、記念日として位置づけられています。しかし、日本では柳条湖事件のことを報道で取り上げられることはほとんどありませんし、この日のことを認識している人は少ないのが現状でしょう。右の写真は、1995 年 8 月に現地を訪ねた時に撮ったものです。これは記念館です（正式名称は、「九・一八歴史博物館」）。外観は卓上カレンダー、「9 月 18 日のことを忘れない」と訴えています。記念館の中は、日中戦争の歴史が展示されています。日本軍による残虐な侵略行為には、目をそむけたくなるようなものもありますが、負の歴史から学びなおすことは大切なことだと思います。



※今号の「9・18」について、毎週水曜日に毎日新聞朝刊に「水説」というコラムを書かれている古賀攻さんの文章（「満州事変の学び直し」9 月 15 日）を参考にしました。